



西田 稔 議員

### 支所地域でも障がい児の学童保育を！

児童の受け入れについては、前年度に行う入室希望調査の結果を踏まえ、必要に応じて指導員を加配するなどの対応を行い受け入れていく。

### 学校図書司書の適正配置について

問 江名子小学校が兼務校になっている理由は。

答 現在、市内小中学校に、図書館の業務に従事する学校図書館指導員を25名配置している。31校中17校は専任校、14校は兼務である。学校図書館指導員の配置に関して、明確な基準はないが、各学校が管理する蔵書数などによって、専任と兼務に分けている。

問 兼務校の多くが支所地域にある。地域間格差ととられかねない。

答 学校図書館指導員が兼務する学校は、江名子小のほか岩滝小、清見小・中、莊川小・中、宮小・中、朝日小・中、久々野小・中、本郷小、

析尾小であり、支所地域が多いが、これは蔵書数の差などによることとが大きな理由である。

問 全小中学校に専任の学校図書司書を配置すべきでは。

答 学校図書館指導員の兼務校では、図書館が無人となる時間があることから、子ども・教師が活用したいときや相談したいときに学校図書館指導員がいないときがある、大きな課題であると考えている。

### 特定非営利活動法人さんしょうの会の要望書について

問 全国的に学童保育を希望する障がい児等が急増している。市の現状は。

答 「留守家庭児童教室」における障がいのある

問 支所地域では十分な対応ができていないのでは。

答 支所地域における就学児の放課後支援として、「留守家庭児童教室」を各地域に8か所設置している。それ以外のサービスについては、平成27年10月に国府地域に開設された「放課後等デイサービス」事業所の1か所のみとなっている。

問 さんしょうの会では夏休み期間中、障がい児と不登校児の学童保育を行っているが希望が多いため対応できず断る状況がある。

答 本事業は、より多くの児童に体験の機会を提供することを目的としている。そのため申込が多い場合、利用回数を制限している。



車戸 明良 議員

### 「歩いてこそわかる飛驒高山」の魅力！ ―旧森邸・人道橋の整備は―

### 魅力ある観光づくりの推進は

問 まちの博物館の前に近接する、江戸時代から続く豪商森邸を整備して、古い町並みへ通ずる新たな周遊ルートの整備は。

答 歴史的風致の文化交流拠点施設として整備し、賑わいあるまちづくりを推進する。

問 観光客の誘致や地域の活性化を図るため、宮川を中心として朝市・伝統的建造物群保存地区や商店街を回遊できる歩行環境の整備に取り組む予定は。

答 地元の皆さんに協力をお願いし、様々な事業なども併せながら、平成32年以降に整備を予定している。

### 古い町並み周辺の車両進入制限について

問 今後日本を代表する観光地として生き続けるためにも、歩いてこそわかる飛驒高山の魅力創出が重要である。「車両進入制限」の市の目指すところと考え方は。

答 古い町並み境界の車両を抑制することで、歩行者の安全を確保し、町の回遊性を高めたい。歴史的な景観や伝統的文化をゆつくり歩いて回れる観光地づくりを目指す。全国でも同様な取り組みが盛んになつており、第八次総合計画においても重点事項に掲げて取り組む。

問 今年度予定されている社会実験の内容と状況は。

答 6月から9月頃を目途に、2週間程度の期間で中橋周辺などにおいて車両の自主的な交通制限を予定していた。町内会、景観町並保存会等と協議してきたが合意できず延期とした。

問 住民の声を聞き、知恵をもらい将来はありがたいと思われるよう丁寧に進めるべき。

答 真摯に受け止め、理解が得られたところから実施したい。

### TPPによる地域経済の影響について

問 地元農業・商工観光業への影響は。

地方創生に活路は見いだせるのか。

答 農業は関税撤廃される品目が多く動向を注視し対応する。国の体質強化対策を活かし農業振興を図る。商工観光業は、新たな海外市場の創出、高付加価値製品の開発など「モノを売り込む、ひとを呼び込む」ための各施策の追い風となる。